

大阪湾岸の生物部会 磯の生物観察会 報告



2017年4月30日 加太・田倉崎で観察会が行われました。午後から少し風が出ましたが、晴天で潮も良く引き絶好の観察会日和でした。

7校から教員9名、生徒42名の参加でした。

最初に大阪湾海岸生物研究会の石田惣さんから定点調査と、観察会の流れ、注意事項などのお話がありました。干潮は午後3時ごろだったので先に昼食をとってから、思い思いに観察開始。広い干潟にちらばって、あちこちで研究会のメンバーに質問しながら生き物探しをしました。

観察された生き物は、アナアオサ・タマゴバロニアなど緑藻8種、ヒジキ・ワカメ・フトモズク・ウミトラノオなど褐藻25種、マクサ・ツノマタ・フダラク・オキツノリなど紅藻33種。ダイダイイソカイメン・クロイソカイメンなど海綿動物11種。ウメボシイソギンチャク・ミドリイソギンチャクなど刺胞動物6種、ツノヒラムシなどの扁形動物3種、紐形動物1種、腕足動物1種、苔虫動物2種、ヒザラガイの仲間である多板類9種、マツバガイ・イシダタミガイ・サザエ・アラレタマキビガイ・タマキビガイ・オオヘビガイ・レイシガイ・イボニシ・アメフラシ・クロシタナシウミウシなど軟体動物腹足類76種、ケ

ガキ・ヒメアサリなど軟体動物二枚貝類 13 種、星口動物 1 種、ミズヒキゴカイ・ウズマキゴカイ類など環形動物 9 種、カメノテ・クロフジツボ・マルエワレカラ・ホンヤドカリ・ヨツハモガニ・オウギガニ・ヒライソガニなど節足動物 30 種、イトマキヒトデ・ニホンクモヒトデ・ムラサキウニ・マナマコなど棘皮動物 11 種、ホヤ類 11 種、アナハゼ・イソミミズハゼ・アゴハゼなど魚類 13 種。全部で 263 種でした。(持ち帰って同定される分もあるなので最終的にはもう少し増えます)

次回は 5 月 13 日 (土) 岬町の長崎です。少し近くなりますので、ふるってご参加ください。



ウミフクロウはどこにいるでしょう？

ツノヒラムシいるのが見えますか？



アマクサアメフラシ



ショウジンガニのメガロパ幼生



ハマエンドウ・ハマダイコン満開
でした。